

教師海外研修概要

JICA の開発教育支援

グローバル化が進む世界では、地球に住む私たち自身が自らのライフスタイルを見つめなおし、国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

貧困・環境・人権などの様々な課題を抱える地球が、より持続可能な方向へシフトするにはどうしたらいいのでしょうか？

持続可能な開発のための教育（ESD）にも挙げられているように、その解決に向けての鍵の1つは「教育」にあると考えられています。

相互依存が深まる世界において、開発途上国が直面する多様な課題を自分たち自身の問題として考え、その解決のために自ら行動に移すことのできる人間を育成するために、開発教育・国際理解教育への関心はますます高まるばかりです。

JICA 関西では、開発途上国における技術協力事業、資金協力事業で培った経験、人材やネットワークを活用し、国際協力出前講座、JICA 関西施設訪問、教師海外研修、開発教育指導者研修等の開発教育支援事業を関西地域で広く実施し、地域での開発教育・国際理解教育を支援しています。教師海外研修は、その事業の一つです。

教師海外研修とは…

1. 研修目的

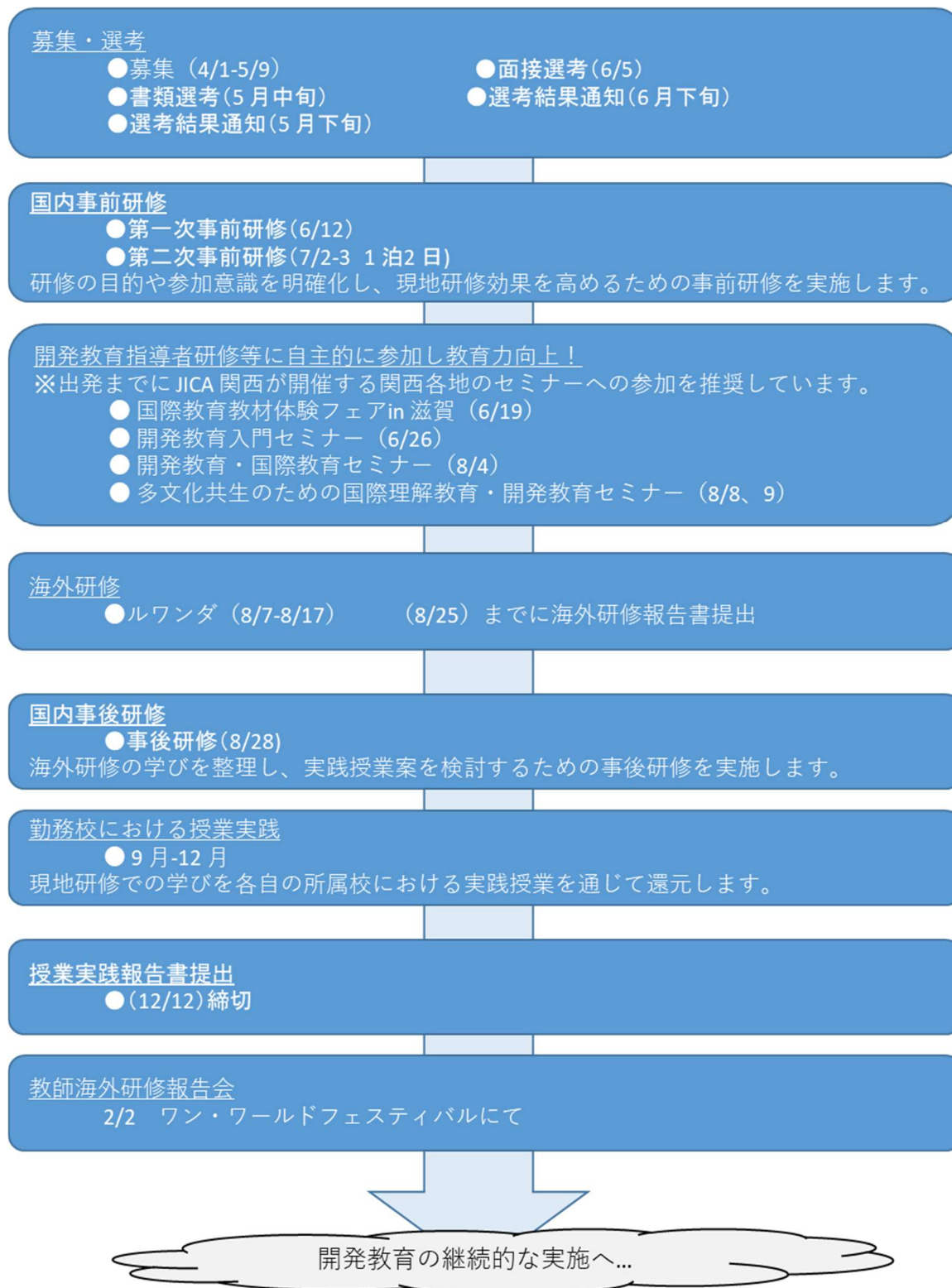
開発教育・国際理解教育に関心を持つ教員を対象に、実際に開発途上国を訪問することで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらうことを目的として実施しています。

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などの教員に、JICA が協力を行っている開発途上国での 10 日程度の海外研修に、参加していただきます。

帰国後は、海外研修で得た経験を、参加した先生自身に自分の教室で子ども達に伝えていただきます。さらに、その経験をそれぞれの学校の所在地域において広く発信していただき、開発教育・国際理解教育の実践者として活躍いただくこともねらいとしています。

II.教師海外研修の流れ

()内は 2019 年度の日程です。



国内研修

事前研修①

(1)日時:2019年6月9日(日) 10:00～17:00

(2) プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:15	オリエンテーション 参加者自己紹介、JICA事業概要、教師海外研修の目的について	
11:15-13:15	ワークショップ 開発教育とは？実践ワークショップ (開発課題の教材化、効果的な授業実践のコツ)	川崎医療福祉大学 教授 山中 信幸 氏 (特活) 開発教育協会 理事 佐藤 友紀氏
13:15-14:00	休憩	
14:00-16:00	ルワンダ内戦を経験したお二人から学ぶ (同日JICA関西にて開催の講演会へ参加) 永遠璃マリールイスさん講演 マニ・マーティンさんミニライブ	(特活) ルワンダの教育を考える会 永遠璃・マリールイス氏 マニ・マーティン氏
16:10-17:00	ふりかえり・事務連絡	

事前研修②

(1)日時:2019年7月6日(土) 10:00～7日(日) 17:00

(2)プログラム内容

【第1日目：7月6日】

時間	内容	講師
10:00-11:30	JICA事業概要説明・海外研修内容説明	
11:30-12:30	派遣国概要① 青年海外協力隊体験談	青年海外協力隊 帰国隊員 玉田 侑希氏
12:30-13:30	休憩	
13:30-14:30	派遣国概要② 過年度教師海外研修(教育行政コース)報告	御所市立掖上小学校 校長 細井 司 氏 (2016年度研修参加)
14:45-16:30	過年度JICA関西教師海外研修参加者報告 (1) 海外研修で学び感じたこと (2) 得られた経験の教育活動への還元	過年度参加者 (2018年度ネパール研修)
16:30-18:00	ルワンダでの活動について(役割分担等)	
19:30-21:00	ふりかえり	

【第2日目：7月7日】

時間	内容	講師
10:00-12:30	ワークショップ① 授業テーマの考案	川崎医療福祉大学 教授 山中 信幸 氏
12:30-13:30	休憩	
13:30-15:30	ワークショップ② 実践授業案の作成	川崎医療福祉大学 教授 山中 信幸 氏
15:30-16:30	渡航説明	
16:30-17:00	事務連絡	

事後研修

(1)日時:2019年8月25日(日) 10:00～17:00

(2) プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:00	ワークショップ① 海外研修での学びの整理、教材の共有	(特活) 開発教育協会 理事 佐藤 友紀氏
11:15-13:15	帰国後の持続的な授業実践について	青年海外協力隊帰国隊員 大槻 一彦氏
13:15-14:00	休憩	
14:00-16:00	ワークショップ② 実践授業計画の作成、授業案の共有	川崎医療福祉大学 教授 山中 信幸 氏
16:10-17:00	事務連絡(報告書作成)	

事前研修① JICA関西セミナー
アフリカ・ルワンダから学ぶ
～いのち・平和・教育～ の様子



歌にダンスで会場は大盛り上がり！

事後研修の様子(学びの整理)



ルワンダ現地研修の気づきをSDGs目標別に整理

海外研修

研修日程(ルワンダ)

2019年8月4日(日)～8月14日(水) 10泊11日(移動日含む)

日程	プログラム	滞在先
8/4(日)	・伊丹空港発	
8/5(月)	・羽田空港→ドーハ→キガリ空港着 ・到着ブリーフィング	キガリ
8/6(火)	・在ルワンダ日本国大使館表敬 ・JICAルワンダ事務所事業概要説明 ・コーヒーバリューチェーン強化プロジェクト視察 (国家農業輸出振興機構コーヒー圃場) ・ICTイノベーションエコシステム強化プロジェクト視察 (K-Lab、Fab-Lab)	キガリ
8/7(水)	・キガリ虐殺記念館視察 ・ルワマガナ郡灌漑開発計画視察 ・ルワマガナ第一次地方給水計画視察(公共水栓) ・青年海外協力隊員活動視察：ルワマガナ郡庁 ・ホームビジット	キガリ
8/8(木)	・教育省、ルワンダ教育委員会表敬訪問 ・学校ベースの現職教員研修制度化・質の改善プロジェクト視察 (ルリンド郡庁) ・トゥンバ高等技術専門学校視察 ・青年海外協力隊員活動視察： フェアチルドレン・ユースファンデーション(聾学校)	ムサンゼ
8/9(金)	・ムトボ武装・動員解除/社会復帰リソースセンター視察 ・ウムチョムイザ学園訪問、平和ワークショップ実践	キガリ
8/10(土)	・教材収集(マーケット、本屋など) ・ニャマタ虐殺記念館視察	キガリ
8/11(日)	・ルワンダ民族博物館視察(ファイエ) ・王宮博物館視察(ファイエ)	ムハンガ
8/12(月)	・協力隊員活動視察：ムハンガ教員養成校訪問、平和ワークショップ実践 ・事務所報告・研修ふりかえり ・キガリ空港発	キガリ
8/13(火) 8/14(水)	・成田空港→羽田空港→伊丹空港	

研修国概要



ルワンダ共和国
(Republic of Rwanda)



首都：キガリ（Kigali）

面積：2.63 万平方キロメートル

人口：1,230 万人（2018 年，世銀調べ）

民族：フツ，ツチ，トゥワ（なおこれらを示す身分証明証は廃止されている）

言語：ルワンダ語，英語（2009 年公用語に追加），フランス語，スワヒリ語

宗教：キリスト教（カトリック，プロテスタント），イスラム教

政体：共和制

主要産業：農業（コーヒー，茶等）

GDP(名目)：95.09 億ドル（2018 年，世銀）

一人当たり GDP：780 米ドル（2018 年，世銀）

通貨：ルワンダ・フラン

日本の援助実績：（1）有償資金協力（2017 年度まで,E/N ベース）192.08 億円

（2）無償資金協力（2017 年度まで,E/N ベース）442.95 億円

（3）技術協力実績（2017 年度まで,JICA 経費実績ベース）

157.58 億円

主要援助国（2017 年度）：（1）米国（2）英国（3）オランダ（4）ベルギー

在留邦人数：134 人（2017 年 10 月現在）

在日ルワンダ人数：101 人（2018 年 12 月現在）

（2019 年 12 月付外務省ホームページより）

主要な JICA プロジェクト ～ルワンダ～

ICT イノベーションエコシステム強化プロジェクト

協力期間 2017 年 11 月～2020 年 11 月

ルワンダは 2000 年代に「ICT（情報通信技術）立国」を掲げ、国内外の多くの投資家を魅了し、戦後の復興と高い経済成長率を実現してきました。このプロジェクトでは、ICT 関係者や新規参入企業、投資家、教育機関など国内外の関係者が連携して新規ビジネスを立ち上げるための環境基盤となる「ICT イノベーションエコシステム」の強化を目指しています。「knowledge=知識」の頭文字を取った「k-ラボ」を設立し、起業家の支援を行っています。



コーヒーバリューチェーン強化プロジェクト

協力期間：2017 年 5 月～2020 年 5 月



全人口の約 8 割が農業に従事するルワンダでは、農業セクターが GDP の約 3 割（輸出総額約 4 割）を占め、国家経済にとって重要な役割を果たしています。中でもコーヒーは農水産物の輸出 8 割を占める代表的な輸出産品です。このプロジェクトはルワンダ産コーヒーのバリューチェーンを強化して市場競争力を高めることを目標に、コーヒー輸出体制の整備を行っています。

学校ベースの現職教員研修の制度化・質の改善プロジェクト

協力期間：2017 年 1 月～2019 年 12 月



ルワンダにおける初等教育の純就学率は 96.8%*と高い数値を誇る一方で、修了率は 61.3%*に留まっています。また、小学校 3 年生に期待される読み書き・計算能力には約 4 割の生徒が到達せず*、教育の質に課題を抱えています。このプロジェクトは教員向けガイドラインや授業計画マニュアルの開発、また教員への授業研究支援などを通して、ルワンダにおける教育の質の向上を目指しています。（*教育省調べ）

更にルワンダのプロジェクト情報を知りたい方は JICA ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jica.go.jp/rwanda/>